

杏林大学大学院保健学研究科

平成29年度秋学期 論文発表会および特定の課題についての研究発表会プログラム

12月15日(金) B206マルチルーム(三鷹キャンパスとの中継あり)

発表時間:修士は発表15分、質疑10分(計25分)／博士は発表30分、質疑15分(計45分)※演題No.13のみ発表15分、質疑10分(計25分)

時間	No.	演者	分野	指導教員	題名	座長
9:00-9:05	大瀧研究科長 開会の辞					
9:05-9:30	1	保修4S 木下 瑞貴	臨床検査・生命科学	石井(和)教授	LC-MS/MSによるヒト血漿中Equolおよびその抱合代謝物の分析法の開発と代謝物プロファイルに関する研究	大迫教授
9:30-9:55	2	保修4S 青島 悟	臨床工学	四倉(章)准教授	透析用監視装置の安全監視項目に関する計測装置の作成と運用システムの開発	岸野教授
9:55-10:20	3	保修4S 木村 礼美	臨床工学	四倉(章)准教授	汎用データベースとタブレット端末を利用した透析業務支援システムの開発	岸野教授
10:20-10:30	休憩					
10:30-10:55	4	保修4S 相原 圭太	リハビリテーション科学	八並教授	脳卒中片麻痺患者の歩行における痙縮と下腿装具について	田中(浩)教授
10:55-11:20	5	保修4S 濱 祐輔	臨床工学	四倉教授	選択的神経線維に対する複合的電気刺激装置の開発と実用化に向けた基礎的検討	田中(浩)教授
11:20-12:05	6	保博6S 大城 直美	リハビリテーション科学	丹羽教授	1型糖尿病モデルラットにおける腹壁筋を支配する運動ニューロンと筋の形態変化について	田中(浩)教授
12:05-13:00	お昼					
13:00-13:45	7	保博6S 玉木 徹	リハビリテーション科学	丹羽教授	糖尿病に起因する運動ニューロンの形態学的変化及び筋の機能障害	田中(浩)教授
13:45-14:30	8	保博6S 長島 泉	リハビリテーション科学	下田教授	手の心的回転課題遂行方略・遂行能力における加齢の影響 -15~84歳の245名を対象とした横断的研究-	四倉教授
14:30-14:55	9	保修4S 山本 裕美	保健学	太田教授	母子健康手帳交付時面接の効果に関する研究	四倉教授
14:55-15:05	休憩					
15:05-15:30	10	看修4S 原田 和沙	実践看護科学	中島(恵)教授	がん終末期療養者を在宅で看取る覚悟を支える看護支援の検討	大木教授
15:30-15:55	11	看修4S 勝部 亜由美	実践看護科学	浅沼教授	総合病院に入院中の患者の怒りと看護師の対応	中島(恵)教授
15:55-16:20	12	看修4S 山下 直也	実践看護科学	浅沼教授	「身体化」を呈する患者を看護する上でのリエゾン精神看護専門看護師の役割	中島(恵)教授
16:20-16:45	13	保博6S 小濱 優子	保健学・救急救命学	照屋教授	用手的介入がケア実施者および対象者の心身に及ぼす影響に関する基礎的研究	四倉教授